

「考案賞」対象考案の募集について

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会

今年も当協会の顕彰規定に基づく「考案賞」の対象となる改善・考案の募集を次の内容で行います。

1. 募集目的

特定自主検査に係わる労働災害の防止および品質・効率向上に役立つ作業改善や検査技術、機器等の考案を奨励し、特定自主検査推進の意識高揚を図る。

2. 対象の改善・考案

建設荷役車両の特定自主検査および整備作業に関する作業・技術及び機器やその製作についての改善や考案で募集目的に対する効果が認められるもの。

注1) 建設機械等の製品そのものの改良・開発は含まない。

注2) 他団体に係る賞との重複応募は認めない。

3. 応募対象者

協会の行う事業に貢献し、顕著な功績が認められる企業所属の従業員（個人又はグループ）。

4. 募集条件

- (1) 応募者（グループ）が、自分で改善・考案したものであること。なお、開発・製作を専門に実施している者の応募はご遠慮願います。
- (2) 現在使用しているものであること。
- (3) 汎用品として市販していないものであること。
（自社グループ内の利用は可）

5. 応募手続

- (1) 応募書類
 - ① 「考案賞」応募申込書・・・1通（様式D₃）
 - ② 考案説明書・・・1通（様式E₃又は同等）

注1) 用紙は原則として規定用紙を使用するが、同種のものを自製してもよい。応募申込書及び考案説明書はホームページよりダウンロードできます。

注2) 各用紙下欄の作成要領を参照し、必要な略画、写真、図面等を添付すること。

注3) 応募用紙を自製する場合は、ワードまたはエクセルを使用し、応募申込書は印刷し、考案説明書はCD及びEメール等の電子データでの提出を認める。その場合貼り付ける写真等はJPGまたはTIF形式を使用すること。

注4) 応募書類は返却しない。

(2) 送付先

当協会支部

(3) 提出期限

令和2年1月15日（水）必着

6. 審査

- (1) 審査は、協会本部に設置する顕彰審査会において行う。
- (2) 審査の項目としては、改善・考案の効果のほかにも実用化状況等を加味する場合もある。
- (3) 改善・考案の内容が不明確の場合、審査の過程で追加資料の提出を求めることがある。

（平成30年度金賞作品）



「ブレードドラム脱着治具」



「バッテリーキャップ回し治具」

7. 表彰

- (1) 金賞（賞状及び賞金5万円）：3作品以内
- 銀賞（賞状及び賞金3万円）：5作品以内
- 努力賞（賞状及び図書券5千円）：5作品以内
- 参加賞（図書券2千円）（上記賞は除く）
- (2) 入賞作品は、令和2年3月に決定し、令和2年6月に開催する本部定時総会において公表する。
- (3) 賞状と賞品は、各支部の総会等において支部長から伝達する。

8. 入賞考案の紹介

入賞考案は、協会機関誌「建設荷役車両」及びホームページに企業名、入賞者の個人名及びその概要を掲載します。昨年度の入賞については本機関誌又はホームページをご覧ください。なお、応募された方に当該年の全応募考案の紹介資料を提供します。

問い合わせ先

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
（担当：牛田 孝史）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1
ニュー九段ビル 9階 ☎ 03-3221-3661(代)
Eメール： t_ushida@sacl.or.jp

「考案賞」応募対象の解説

この「考案賞」制度は、平成3年からスタートし今回で30回を数えます。平成8年からは「特定自主検査推進の意識高揚を図る。」目的であれば、単に技術的なハード面だけではなく、ソフト面（仕組みの改善等）も考案対象として間口を広げ、応募して頂けるようにしました。

そこで、具体的な応募対象を以下に例示しましたので、参考にして、奮って応募して頂きたいと思えます。

傾向として、安全作業と作業効率改善の作品が、毎年審査員の高得点を獲得しています。埋もれている作品とアイデアを発表してみませんか。

【 対象考案の具体例 】

	上段：ハード面説明 下段：ソフト面説明	
労働災害の防止に係るもの	より安全な作業をするための治工具、用具等の考案。	<div style="text-align: center;">考案賞応募例</div>  <p style="text-align: center;">バケットピン抜きホルダー</p>
	より安全な作業をすることができる方法、マニュアル等の考案。	
整備品質の向上に係るもの	特自検、又はその関連作業で点検修理をより確実するための治工具、用具等の考案。	 <p style="text-align: center;">コンセント焼損感知シート(お知らせさん)</p>
	特自検、又はその関連作業で点検修理をより確実するための方法、マニュアル等の考案。	
作業の効率化に係るもの	特自検、又はその関連作業で点検修理を効率良くするための治工具、用具等の考案。	 <p style="text-align: center;">腕時計型サーキットテスター</p>
	特自検、又はその関連作業で点検修理を効率良くするための方法、マニュアル等の考案。	
信頼される特定自主検査制度の推進に係るもの	特自検制度がより理解され、信頼されることにつながる計器、用具等の考案。	 <p style="text-align: center;">作業手順書</p>
	特自検制度がより理解され、信頼されることにつながる方法、マニュアル等の考案。	

- 注 1) 建設機械の製品そのものの改良・開発は含まない。
 注 2) 商品として専門に改良・開発されるものは含まない。